

決算報告

市の財政状況をお知らせします

問合せ
市庁舎本館3階 財政課
TEL0897-52-1314

決算の概要



西条市長
玉井 敏久

平成28年度の西条市の決算がまとまりましたので、お知らせします。

一般会計の決算額は、歳入513億7698万円、歳出492億6499万円で、差し引き21億1199万円の剰余となっています。このうち翌年度へ繰り越した事業に充てるための財源9843万円を除いた実質収支は、20億1356万円の黒字となっています。各特別会計の決算状況やその概要は、別記のとおりとなっています。

平成28年度は、小中学生の通院に係る医療費の助成や、市立河北こども園の開設による子育て環境の充実をはじめ、CLT（直交集成板）製造施設整備などに対して助成を行う合板・製材生産性強化対策事業、健康づくり・医療体制の充実や国体推進事業など、緊急かつ懸案の重要施策に積極的に取り組んでまいりました。

今後とも、「全ては市民のため」を肝に銘じ、市民の皆さま一人一人の夢と希望が花開いていく、「ワクワク度日本一の西条」を目指して、チーム西条一丸となって全員参加型のまちづくりにまい進してまいります。

平成28年度 一般会計 決算額

予算額	554億4,425万円
歳入	513億7,698万円
歳出	492億6,499万円

歳入歳出差引額（歳入－歳出）
21億1,199万円 … A

平成29年度へ繰り越す事業に必要な財源
9,843万円 … B

実質収支額（A－B）
20億1,356万円

予算とは？

1年間の収入（歳入）と支出（歳出）に関する見積もりをまとめた「計画」のことです。

決算とは？

実際の収支をまとめた「実績」に当たります。

市の会計は3種類あります

一般会計

福祉や教育、道路整備など、市政運営の基本となる会計です。

特別会計

国民健康保険や介護保険など、一般会計と区分する必要がある特定事業の会計です。

企業会計

企業経営という観点から、独立して経理する会計です。

※本文中の金額は1万円未満を四捨五入。市民1人当たりの計算は、平成29年3月31日現在の人口（111,194人）を基にしています。

平成28年度の主な事業



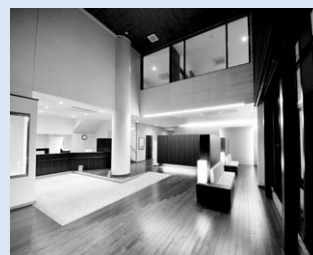
▲合板・製材生産性強化対策事業



▲土砂災害ハザードマップ作成事業

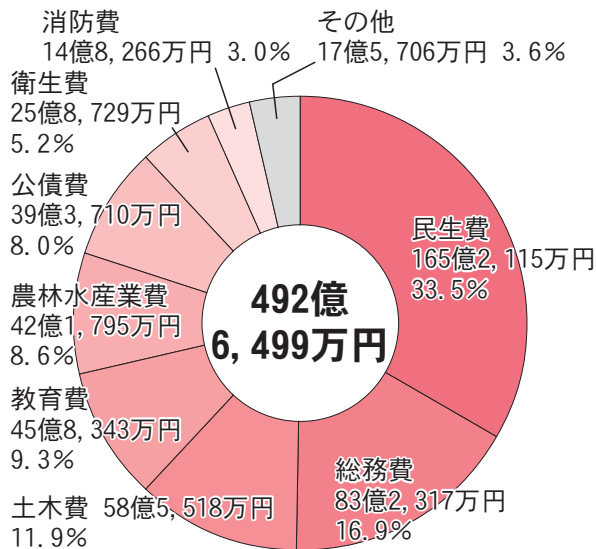


▲椿交流館改修事業

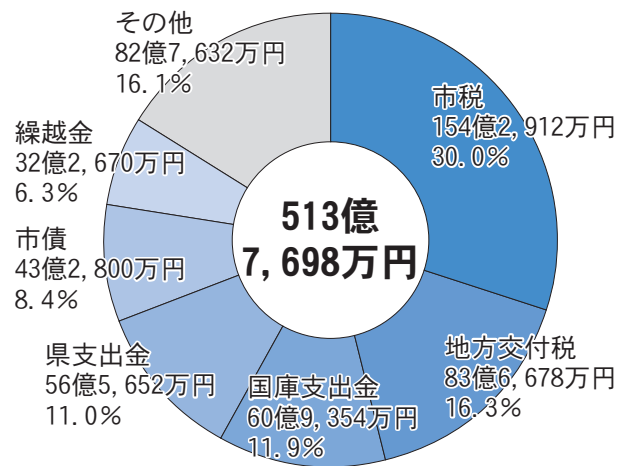


▲本谷温泉館大規模改修事業

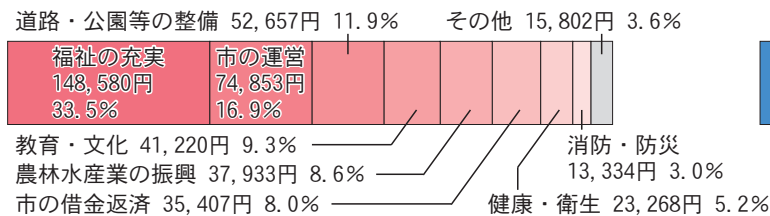
一般会計 歳出



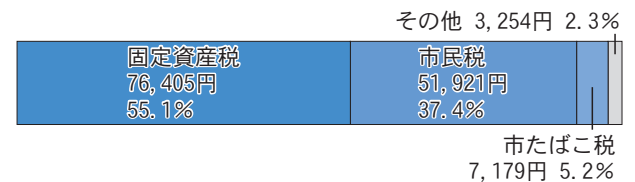
一般会計 歳入



市民1人当たりに使われたお金 443,054円



市民1人当たりの税負担 138,759円

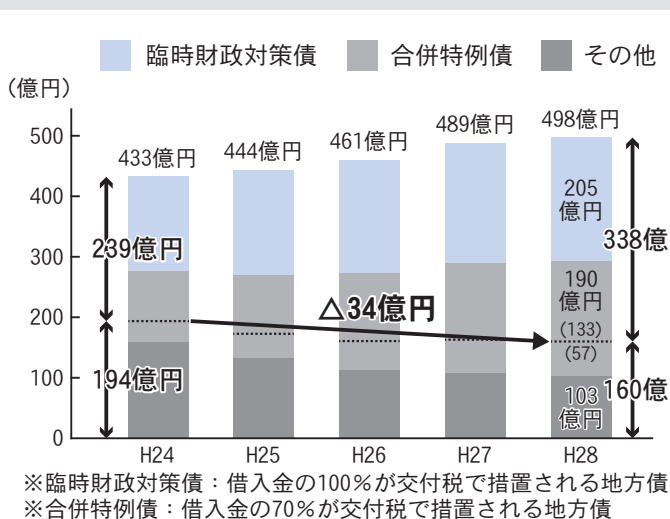
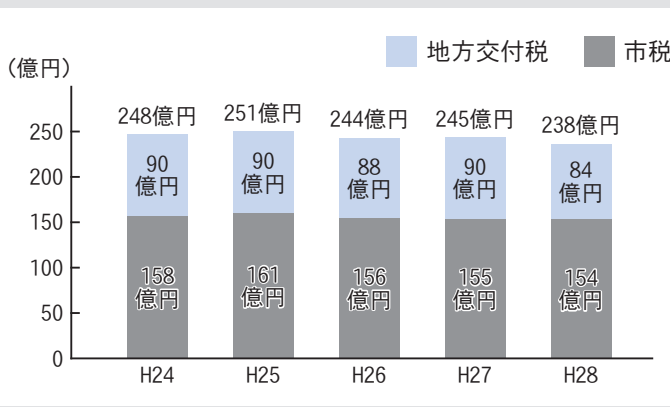


【過去5年間の状況】 市税・地方交付税収入

前年度と比較すると、市税は、8329万円減少、地方交付税は5億8489万円減少、合計で6億6818万円減少し、237億9590万円となりました。5年前と比較すると、9億9861万円減少しています。これらは使途が特定されない財源であることから、新たな事業の実施が厳しくなっています。

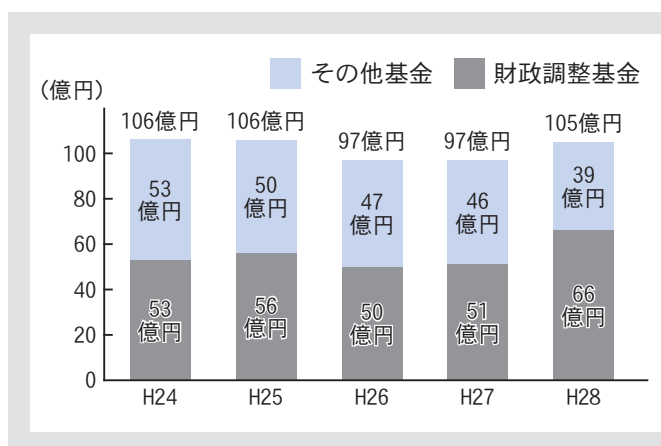
【過去5年間の状況】 市債残高 (一般会計)

平成28年度末の一般会計の市債残高は、前年度から8億8492万円増加し、498億2690万円でした。うち338億円は国の財政支援(地方交付税措置)があることから、市の実質的な負担額は160億円となり、前年度と比較すると3億円、5年前と比較すると34億円減少しており、市債残高に対する将来的な財政負担は改善しています。



平成28年度 特別会計 決算額

会計区分	予算額	歳入	歳出	差引(歳入-歳出)
国民健康保険	155億6,676万円	150億4,914万円	147億 100万円	3億4,814万円
介護保険	109億1,339万円	109億8,138万円	106億 743万円	3億7,395万円
うち介護保険事業勘定	108億3,868万円	108億2,734万円	105億3,494万円	2億9,240万円
うち介護サービス事業勘定	7,471万円	1億5,404万円	7,249万円	8,155万円
簡易水道事業	1億3,698万円	1億2,447万円	1億2,447万円	0 円
公共下水道事業	42億 923万円	37億 764万円	37億 55万円	709万円
小規模下水道事業	5,054万円	4,786万円	4,786万円	0 円
港湾上屋事業	580万円	578万円	544万円	34万円
ひうち地域振興整備事業	23億5,524万円	23億4,507万円	23億4,507万円	0 円
土地開発事業	238万円	58万円	58万円	0 円
小松地域交流事業	3億5,072万円	2億4,634万円	1億4,746万円	9,888万円
本谷温泉事業	3億4,288万円	3億4,181万円	3億4,181万円	0 円
住宅新築資金等貸付事業	181万円	967万円	114万円	853万円
畑地かん水事業	2,704万円	2,551万円	1,247万円	1,304万円
庄内財産区	118万円	111万円	101万円	10万円
壬生川財産区	528万円	525万円	355万円	170万円
後期高齢者医療保険	14億4,324万円	13億9,394万円	13億6,676万円	2,718万円
合計	354億1,247万円	342億8,555万円	334億 660万円	8億7,895万円



【過去5年間の状況】
積立金(基金) 残高
 公共施設の整備や借金の返済といった将来の財政運営に活用するために積み立てている貯金(特定目的基金)など、その他基金の残高は、前年度から7億4015万円減少しました。しかし、災害など不測の支出などに備えるための貯金(財政調整基金)は、前年度から15億4875万円増加しました。合計では8億860万円増加し、105億4899万円となりました。不測の支出に対する備えは手厚くなっています。

市の借金(市債現在高)

会計区分	現在高	
一般会計 ①	498億2,690万円	
特別会計 ②	介護保険	5,418万円
	簡易水道事業	5億5,721万円
	公共下水道事業	212億8,130万円
	小規模下水道事業	2,569万円
	ひうち地域振興整備事業	3億2,578万円
	住宅新築資金等貸付事業	93万円
	本谷温泉事業	3億 760万円
特別会計 計	225億5,269万円	
企業会計 ③	水道事業	62億6,065万円
	病院事業	13億1,025万円
企業会計 計	75億7,090万円	
合計 ①+②+③	799億5,049万円	

平成28年度 企業会計 決算額

水道事業会計	
収入(収益)	8億7,884万円
支出(費用)	8億1,116万円
差引(収入-支出)	6,768万円
病院事業会計	
収入(収益)	1億6,667万円
支出(費用)	1億9,728万円
差引(収入-支出)	△3,061万円

市の財産(市有物件)

土地	2,937万5,289平方メートル
建物	53万7,634平方メートル
基金	105億4,899万円
有価証券	1,924万円
出資金	2億2,599万円
債権	15億4,955万円